

1 調査目的

今後の人口減少社会を迎えることや節水をはじめ、水道水の使用状況などが変化していることも踏まえて、将来にわたって安定して、安全で安心な水道水を事業所の皆様に提供できる水道事業経営のあり方を検討する中で、各事業所における水道水の使用状況などを把握する資料とします。

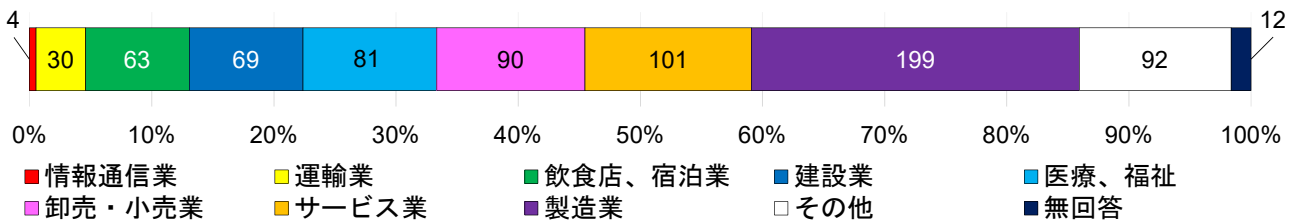
① 調査概要	
調査項目	水道事業に関する設問 全 22 問
調査対象	豊田市内の事業所(令和3年3月末時点)から無作為に抽出した 1,800 事業所
調査地域	豊田市内
調査方法	調査票を郵送にて配布・回収（インターネットによる回答の回収も実施）
調査期間	令和3年7月1日～7月30日
② 回収結果	
回答数	741 事業所
回収率	41.2%（741 事業所 / 1,800 事業所）

※グラフ上の数値は回答数を表しています。

2 回答者の属性

回答した事業所の主たる業種は、製造業が最も多く、次いでサービス業が多くなっています。

事業所の主たる業種

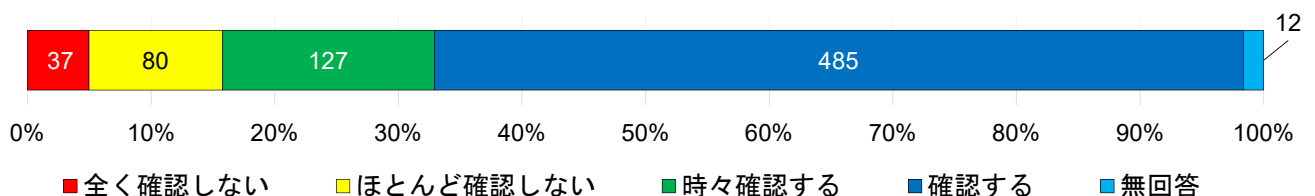


3 水道水の使用状況について

3.1 使用水量について

アンケートに回答した事業所のうち、80%以上の事業所は、使用水量のお知らせについて、「確認する」「時々確認する」と回答していました。

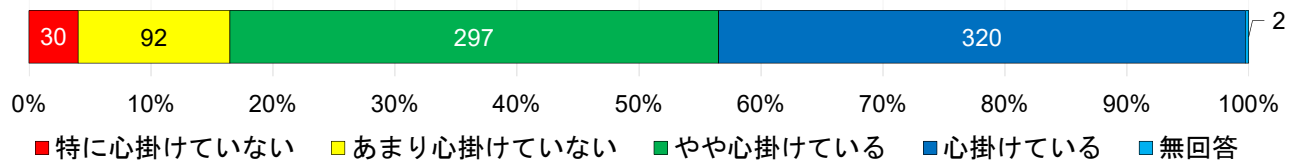
「使用水量のお知らせ」を確認しているか



3.2 節水について

普段の節水についても、「心掛けている」「やや心掛けている」と回答した事業所は全体の80%以上となり、大多数の事業所が使用水量に関心を持ち、節水意識をもって節水に取り組んでいることがわかります。

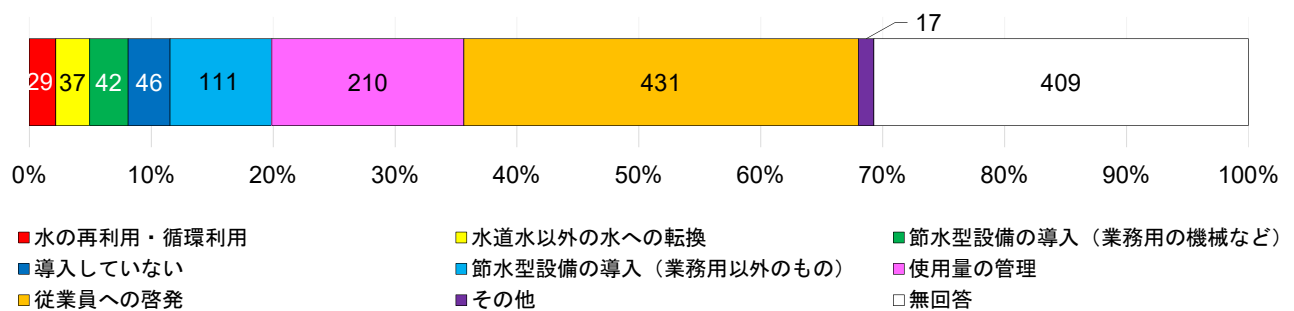
普段、節水を心掛けているか



3.3 節水方法について

具体的な節水方法としては、「従業員への啓発」が最も多く、「使用量の管理」「節水型設備の導入」が多くなっており、これらの節水の取組が、水道使用量減少の一因となっていると考えられます。

具体的な節水方法

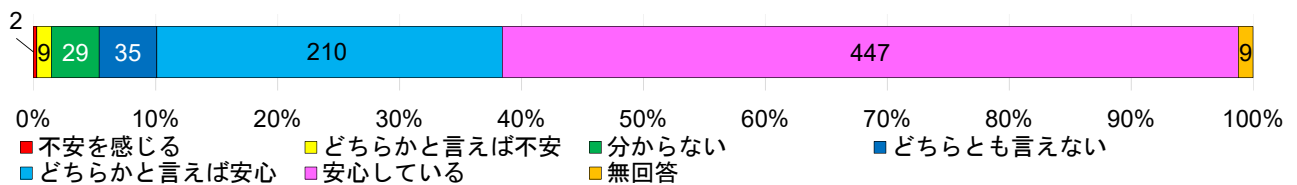


4 安全性と備蓄状況

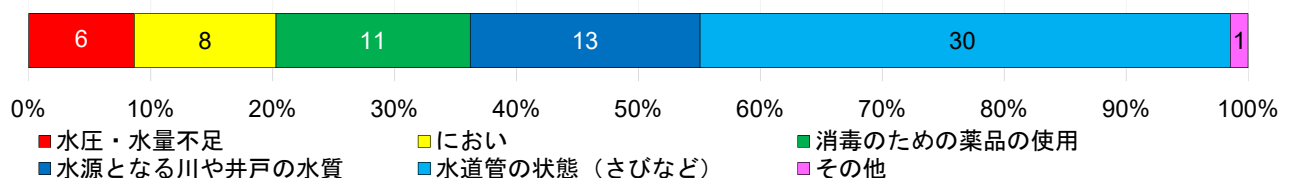
4.1 水道水の安全性について

水道水の安全性については、80%以上の事業所が安心感を持っています。一方で、水道水に不安を感じる理由については、「水道管の状態（さびなど）」が最も多く見られます。

豊田市の水道水の安全性について



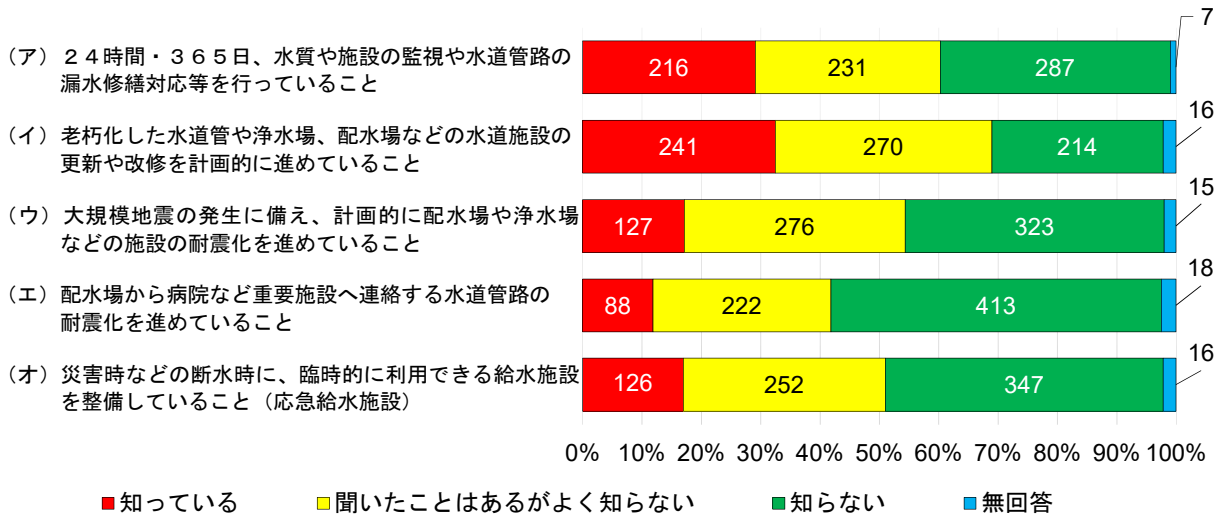
水道水に不安を感じる理由（複数回答可）



4.2 上下水道局の取組について

水道事業の安全性を高める取組（老朽設備の更新、耐震化等の実施）の認知度は10～30%程度であることがわかります。

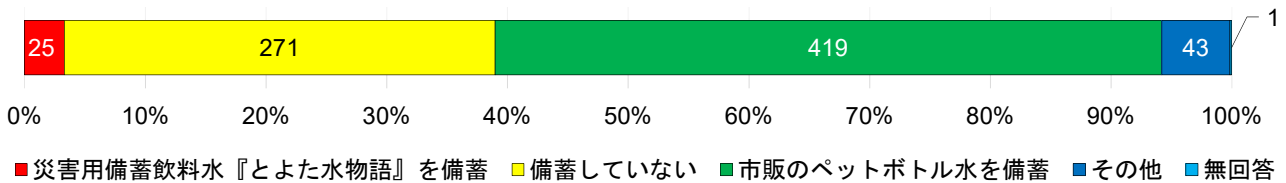
上下水道局で行っている取組を知っているか



4.3 災害に備えた水の備蓄について

60%以上の事業所が、災害に備えて水を備蓄していることがわかります。各事業所は防災意識を高く持っていることがうかがえます。

災害に備えた飲料水の備蓄状況(複数回答可)

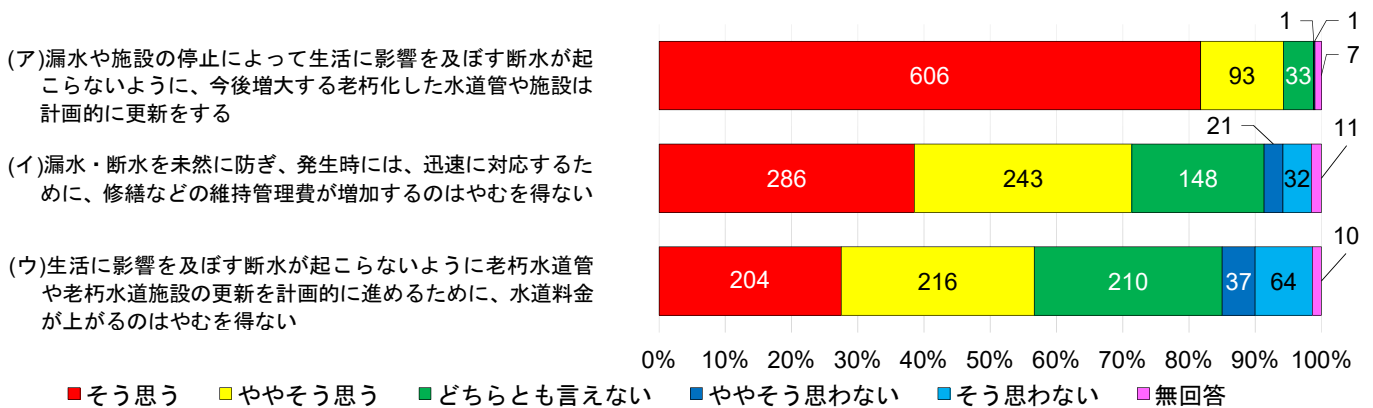


5 水道事業について

5.1 水道施設等の修繕について

水道の施設、管路の更新・修繕については、ほとんどが更新の必要性を感じる旨を回答しており、そのために水道料金が上がるのがやむを得ないと回答した割合も60%程度となっています。

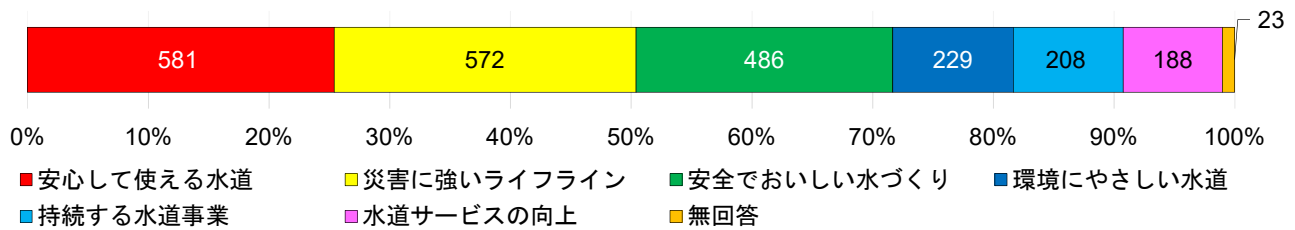
水道の施設・管路の更新・修繕について



5.2 水道事業に対して重要だと思うこと

水道事業に対して重要だと思うことは、「安心して使える水道」の回答が最も多くなっており、次いで「災害に強いライフライン」「安全でおいしい水づくり」の順に回答が多くなっています。

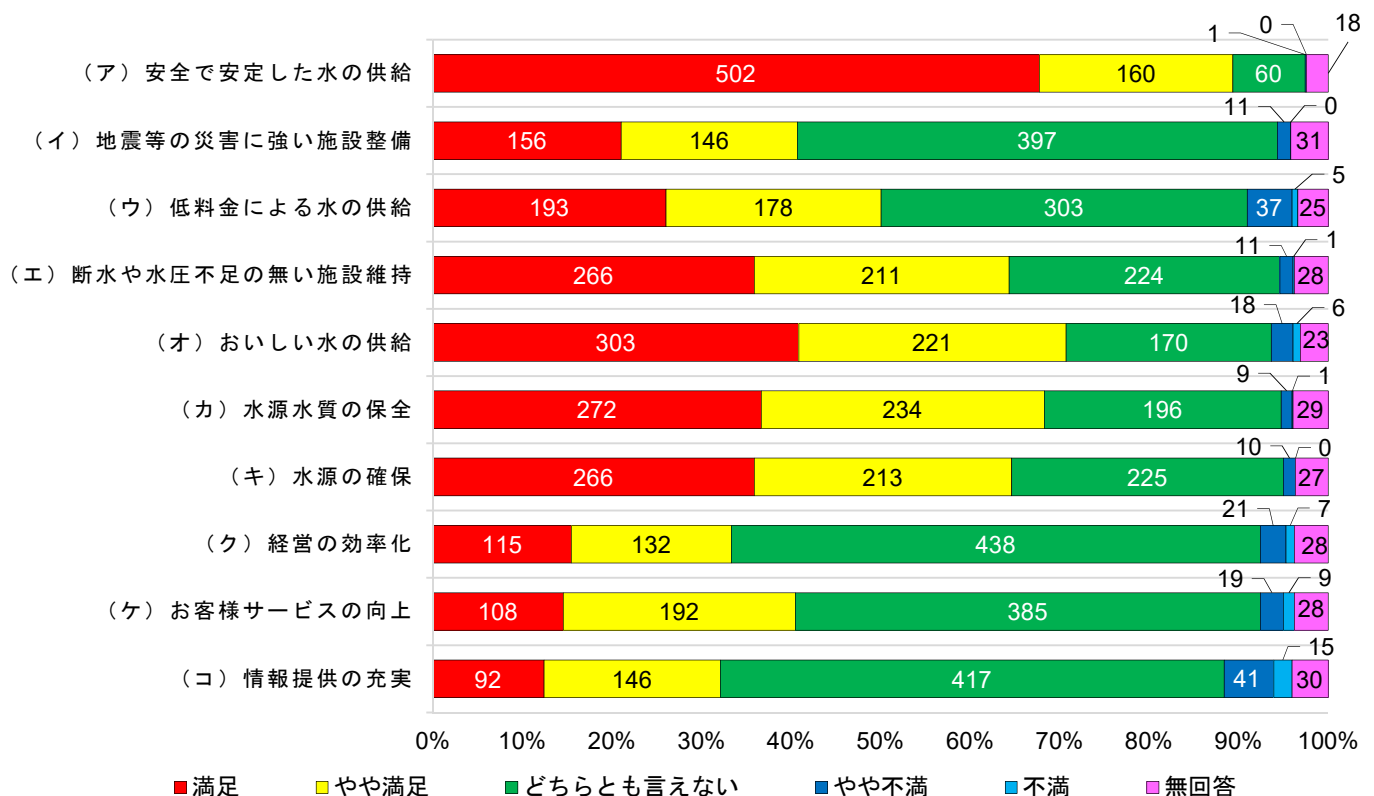
水道事業に対して、重要だと思うことはどれか(複数回答可)



5.3 水道事業に対する現状の満足度

また、水道事業についての現状の満足度は、「安全で安定した水の供給」が最も多く、次いで「おいしい水の供給」「水源水質の保全」の順に回答が多くなっています。

水道事業についての現状の満足度



以上の結果から、上下水道局の現状に対して事業所から一定の評価を得ていることがわかりますが、今後も安全・安心で、災害に強いライフラインであり続けることが期待されています。

6 アンケート結果の概要

- 使用水量の把握度合い、節水意識は双方ともに高い傾向が見られます。
- 水道水の安全性に対する信頼は高い一方で、水道管の状態等への不安を感じる回答も見られます。
- 水道インフラの老朽化に伴う対応の必要性はほとんどが肯定的な回答になっているほか、そのための料金値上げについては約60%から肯定的な回答を得られています。

豊田市上下水道局では、将来にわたり災害に強い施設を構築するとともに、安全・安心な水道水を提供できるよう取り組んでいきます。